

令和6年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	○：対応 △：一部対応
鶴見	1	保育所の定員割れ対策	定員割れが進行している保育所の空きスペースを活用し、低学年児童の預かりを実施	こども青少年局	○
鶴見	2	子育て応援サイト(仮称)構築に向けた更なる連携強化・データ活用による支援強化	1 市や各区における子育て支援情報を整理するとともに、子育て中の区民のニーズなどを踏まえ、市民にとって必要な情報が効果的に伝わる子育て応援サイトの構築 2 各区の専門職とより一層連携した、子育て応援サイトを介した業務効率化やプッシュ型の個別支援につながる仕組みの構築	こども青少年局	○
鶴見	3	大黒ふ頭エリアの観光等における活用及び経済活性化	1 スカイウォークや大黒CIQ施設等の活用や横浜港関連企画と連動した鶴見区の魅力PR 2 横浜港の理解促進と区事業(社会学習、環境啓発等)を連動した多方面での連携強化	港湾局	○
鶴見	4	中距離電車(相鉄・JR直通線)停車の実現等、鶴見駅のターミナル機能強化	1 鶴見駅に中距離電車(相鉄・JR直通線)の停車実現、並びに停車できるようにするためのホーム新設及び駅改良に向けた検討 2 歩行者デッキ等の整備による回遊性向上や利便性向上等の機能拡充	都市整備局	○
鶴見	5	生麦ランプ入口の交差点周辺道路の交通渋滞の改善	現在の渋滞状況を把握し(交通量調査等)、渋滞改善に向けた検討	道路局	○
鶴見	6	都市計画道路の早期整備	1 都市計画道路「浜町矢向線」「大田神奈川線」「岸谷線」等の区内の交通環境改善のために検討されている路線整備の促進 2 その他都市計画道路の整備	道路局	—
鶴見	7	JR南武線矢向駅周辺の利便性及び安全性の向上	1 連続立体交差事業の推進 2 JR矢向駅の駅改良	道路局 都市整備局	○ ○
鶴見	8	「東部方面斎場(仮称)」の整備における市域東部方面からのアクセスの実現	交通事情に配慮した鶴見区側からのアクセス向上のための検討及び関係機関との調整	健康福祉局	○
鶴見	9	民生委員・児童委員会費徴収の効率化	民生委員・児童委員に支給する活動費から事前に市社会福祉協議会等の会費を引き去ることによる負担軽減	健康福祉局	△
鶴見	10	要介護高齢者の結核健診(管理健診、接触者健診)にかかる巡回健診の実施	結核健診が必要な要介護者への巡回健診の実施による負担軽減や受診率の向上	医療局	△
鶴見	11	こどもの予防接種の接種記録の照会方法の改善	こどもの予防接種履歴を簡便な方法で閲覧・照会できる仕組みづくり	医療局	△
鶴見	12	歯周病検診(70歳)の受診勧奨	歯周病検診の対象者である70歳の方への郵送による個別受診勧奨	健康福祉局	○

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	こども青少年局	鶴見区		こども家庭支援課		
		担当者名	児玉、佐瀬	TEL	510-1816	
		共通区				

継続年数	新規
------	----

提案種別	制度関連
------	------

番号	項目
----	----

1 保育所の定員割れ対策

◇地域の課題、基礎データ等

【保育ニーズの現状】
 ・保育所の定員割れ人数が18区で最多となっており（令和5年4月1日時点）、保育所の定員数が利用申請者数を上回る需給バランスの逆転状態が発生しています。
 ・待機児童・保育児童数が18区で最小となっており（令和5年4月1日時点）、待機児童が多く発生していた数年前と比較すると、通える範囲内に空きがあっても希望しないなど、特定園にこだわる傾向が見られます。
 ※待機児童：0人、保育の必要性が高い保育児童（育児休業の延長を希望されている方を除いた保育児童）：46人
 ・保育児童数を大きく上回る定員割れが発生しています。（保育児46人に対し、対応する年齢の空き人数364人）
 ・定員割れの悪化に関する保育所からの運営相談が相次いでおり、閉園する園もでてきています。
 ・区内の小・中学生の人口は増加傾向にあるため、一部事業者からは保育園の一部を学童等の放課後児童対策に使用したいという声も出てきています。

【見えてきた課題】
 ・保育所の主な収入源が在園児数に応じた委託費である現在の制度下では、利用者数の減少が収入減に直結しており、鶴見区のような需給バランスが逆転している状況では、事業者は今後の園の運営の先行きが見えない状況になっています。
 ・一方で、国では令和8年度から「こども誰でも通園制度（仮称）」の実施を検討しており、市でも「子育てしたいまち」の実現に向けて一時保育の拡充等に取り組んでいることから、保育園が統廃合するような状況を作るべきではなく、入所人数を必要に応じて精査しつつ、現在の保育資源は維持する必要があります。
 ・全国的な保育利用者数のピークは令和7年度と見込まれていますが、すでに鶴見区の利用者ピークは過ぎており、今後こうした課題は全市民的な課題になると考えられます。

【参考データ】年齢別人口の推移（鶴見区内15歳以下）※住民基本台帳・各年9月末時点

	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	変化の様子
就学前（0～5歳）	15,724人	15,337人	14,722人	13,737人	13,043人	
小学生（6～12歳）	17,744人	17,850人	17,891人	18,015人	17,945人	
中学生（13～15歳）	7,057人	7,138人	7,270人	7,379人	7,418人	

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（ ）

◇区民からの具体的な要望

- ①区民の要望：立地条件や保育内容等、希望条件に合う特定の保育所を利用したい、いわゆる「小1の壁」に対する潜在的ニーズがある。（区内小学校の教室不足やキッズクラブの定員増加傾向）
- ②事業者の要望：施設の定員割れに対して、市として対策を講じてもらいたい。また、空いたスペースを別事業に活用したい。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

就学前人口の推移や大規模開発の計画等を踏まえ、保育ニーズに対応すべく保育所の整備を進めてきました。近年はこれと並行し、フォローによる空き定員の利用促進や、定員割れが進行している保育所への定員構成の見直し提案などの対応を行っています。また今年度には、国の補助金を活用し、「保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業」を区内の保育所で実施しています。

◇提案内容・概算額等

【提案の方向性】
 ・定員割れが進行している保育所に対し、一部の機能転換を認めることで、施設の安定運営を図ります。
 ・保育所の定員割れが進んでいる地域と、小学校の児童数が増加している地域がほぼ一致することや、保育所機能との親和性から、原則として学齢期の児童の預かりを転換後の機能とします。
 ・就学前から学齢期への移行期間をサポートすることで、切れ目のない支援を実施します。
 ・特に鶴見区において保育所の定員割れが顕著であることから、試行的に実施します。

【提案内容】
 区：保育所の空きスペースを活用した小学生の預かりを実施し、定員割れ対策としての有効性を検証します。
 局：事業の多機能化にあたり保育所の空きスペース活用のルール作りを行います。

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

所管局課	こども青少年局保育対策課
------	--------------

◆局回答内容

こども青少年局		保育対策課	
担当者名	木村、小関	TEL	671-4469

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 市全体でも定員割れの施設が増加傾向にあり、保育園の空きスペースの活用などについて、令和5年度は施設向けアンケートを実施するなど検討をすすめています。特に定員割れの顕著な地域については、多機能化事業実施にあたり、課題（手続き、補助金の返還など）の洗い出しやルール作り等を行ってまいります。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名: こども青少年局

鶴見区 子育て支援課
担当者名: 二階堂 TEL: 510-1797
共通区: 全区 (一部賛同含む)

継続年数: 新規

提案種別: 制度関連
番号: 2
項目: 子育て応援サイト(仮称)構築に向けた更なる連携強化・データ活用による支援強化
内容: 鶴見区では、区役所や地域子育て支援拠点、親と子のつどいの広場などの他にも様々な子育て支援団体・サークルが子育て支援に取り組んでおり、こうした地域の身近な子育て支援情報を集約したものをより一層効果的に子育て中の区民に届けていくことが課題です。また、この取組により地域の子育て協力者の参画、担い手の育成の促進にも取り組んでいく必要があります。
【基礎データ】
①地域子育て支援拠点: 2か所 ②親と子のつどいの広場: 4か所
③鶴見区子育てガイドブックに掲載の子育て支援団体数: 59団体・サークル
◇地域ニーズ等の収集手段
□1 日常の窓口対応等 □2 市民からの提案等 □3 地区担当制 □4 地域懇談会等
■5 区民アンケート □6 区民要望 □7 関係団体からの要望
□8 その他 ()
◇区民からの具体的な要望
【令和3年度版横浜市鶴見区地域子育て支援に関するアンケート調査集計結果】
問) 子育てに関する情報を探るときは、何を使っていますか?
鶴見区ホームページ: 31.4%
つるみ区子育て応援ガイドブック: 17.0%
地域子育て支援拠点わっくんひろばホームページ・SNS等: 16.3%
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。
鶴見区運営方針: II 目標達成に向けた施策「3 子どもから大人まで安心・元気に」
地域の子育て支援情報については、活動団体や活動場所等を「つるみ区子育て応援ガイドブック」や区役所ホームページに掲載しているほか、地域子育て支援拠点ホームページで具体的な活動日時や内容等を掲載しています。
◇提案内容・概算額等
「子育て応援サイト(仮称)構築に向けた連携強化・データ活用による支援強化」
子育て応援サイトの構築にあたっては、市民にとって使いやすいものとなるよう市民目線を最優先にしつつ、各区の状況に応じた柔軟な運用を図れるように各区のニーズを把握するなど、区より一層連携して取り組むことを要望します。例えば、鶴見区においては、地域子育て支援拠点の有するネットワーク機能を中枢として活用し、集約した地域の子育て支援情報を子育て応援サイトで発信することを想定しています。このように、各区局のニーズを踏まえ既存事業・資源の活用や連携を柔軟に図る方向で検討することを希望します。
また、子育て応援サイトの今後の機能拡充にあたっては、保健師や社会福祉職等専門職の意見も十分に踏まえつつ、子育て応援サイトを通して蓄積した各種データを活用した業務効率化やプッシュ型の個別支援につながる仕組みの構築なども検討してください。
◇参考: 区執行体制上の課題
現行の体制で対応
◇所管局
所管局課: こども青少年局企画調整課

◆局回答内容

こども青少年局 企画調整課
担当者名: 佐々木、三橋 TEL: 671-4281

対応の有無: 対応する
対応する場合: ◇対応の内容
既に各区において実施している事業においても、地域の特性に応じたきめ細かい情報を発信していただいています。本サイト・アプリは、母子手帳交付時のご案内などにより、多くの方にご登録いただくことで、これまで以上に行政からの子育て情報をお届けできるようになると想定していますので、区が地域の皆さまとともに事業を推進してきた知見を取り入れるなど積極的に連携していきたいと考えています。居住する行政区によって得られる情報に差異が生じないよう配慮しながら、市民の皆様が利用しやすいツールとなるよう進めていきます。今後の展開にあたっては、システム標準化の進捗状況も踏まえ、職員の業務効率化や多くの方が利用することを前提とした支援施策を各区のご意見を伺いながら検討していきます。
◇課題に対する局の考え方
◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調査書

所管 局名	港湾局	鶴見区		区政推進課	
		担当者名	長谷川、中村	TEL	510-1676
		共通区			

継続年数	5年
------	----

提案種別	
予算関連	
番号	項目
3	大黒ふ頭エリアの観光等における活用及び経済活性化
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>令和元年度に、大黒ふ頭にCIQ（税関・出入国管理・検疫）施設が整備されて以降、観光誘致の拠点として期待をされつつも、新型コロナウイルスの影響により国際クルーズの運航中止が続いていました。令和5年3月からの、本格的な国際クルーズ再開により、大黒ふ頭での客船受入も再開され、今年度の横浜港全体の寄港回数は約200回を見込んでいます。鶴見区ではコロナ禍においても、主にマイクロクルーズの視点で、大黒ふ頭エリアの魅力発信を積極的に行っていましたが、今後は大型客船が多数寄港することも踏まえ、海外を含む観光客をターゲットとした観光施策の展開、市内経済活性化を推進していく必要があります。</p> <p>また、令和4年度にリニューアルオープンをしたスカイウォークでは、横浜港をはじめ、新本牧ふ頭の役割や建設技術、環境への取組などの紹介を行っており、土日祝日の一般開放日には多数の来場者が訪れるとともに、市内の小学校を中心に社会科学見学の受入れも行っていきます。引き続き、横浜港や新本牧整備事業の理解を深め、鶴見の魅力を感じてもらおうとともに、社会学習や環境啓発など幅広い観点で大黒ふ頭エリアの活用を推進していくことが期待されます。</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
◇区民からの具体的な要望	
<p>鶴見区の魅力伝える人材養成講座の受講生や地域団体からは、大黒ふ頭への大型客船寄港をチャンスと捉え、既存の観光資源とも結びつけ、観光客の区内回遊性を高める観光誘致をすべきとの声があります。</p> <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。</p> <p>個性ある区づくり推進費事業「千客万来つるみ」プロモーション事業（運営方針にて「主な取組・事業」として掲載）において、区内外からの誘客促進の一貫として、大黒ふ頭エリアも含めた魅力発信を行うとともに、近年では「環境行動推進事業」においても、スカイウォークを中心に積極的な連携を図っています。また、港湾局主催の「クルーズ旅客を通じた市内経済活性化プロジェクト」での提案のほか、区局間で適宜情報共有などを行っています。</p> <p><主な取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 客船ターミナルのオープニングイベント（港湾局主催・客船見学会）での一部地元商店による飲食・物販ブースや鶴見区紹介ブースを出展（令和元年度） 区内周遊企画における、大黒ふ頭周辺の観光モデルコースを紹介（令和2年度） その他、横浜LOVEWalker、鶴見区バスマップ、横浜鶴見まちあるきマップ等、各種広報媒体における大黒ふ頭エリアの観光スポットの紹介 横浜港や新本牧ふ頭整備事業への理解促進や社会学習、環境啓発等を目的とした、区内小中学校向けの出張授業メニューへのスカイウォークの掲載、区主催事業におけるスカイウォークでの講座の実施（令和5年8月） 	
◇提案内容・概算額等	
<p>1 スカイウォークや大黒CIQ施設等の活用や横浜港関連企画と連動した鶴見区の魅力PR 新本牧ふ頭の紹介や客船見学会等を目的とした来訪者等へのおもてなしを通じた鶴見区の魅力PR (例) イルミネーション観賞のためのスカイウォークの夜間開放、スカイウォークや大黒CIQ施設等での地元産品の紹介・販売や区内観光スポット紹介、スカイウォーク自体の魅力発掘及びプロモーション、横浜港見学会等のコースでの区内スポット周遊や、参加者への観光資源等の紹介 【概算額】 千円 ・スカイウォーク夜間開放（イルミネーション鑑賞企画）試行実施 ・大黒ふ頭エリアおよび区内スポット紹介リーフレット制作 等</p> <p>2 横浜港の理解促進と区事業（社会学習、環境啓発等）を連動した多方面での連携強化</p> <p>※事業実施の際は、大黒ふ頭方面市営バスやタクシーの増便に向けた働きかけや自家用車駐車場の確保に区局連携のもと取り組むとともに、水上交通の発着拠点の整備なども含めたアクセス向上を推進していくこと。</p>	
◇参考：区執行体制上の課題	
現行の体制で対応	
◇所管局	
所管局課	港湾局政策調整課・客船事業推進課・新本牧事業推進課

◆局回答内容

港湾局		政策調整課 新本牧事業推進課 客船事業推進課	
担当者名	多田、五十嵐 (政策調整課) 三浦、重田 (新本牧事業推進課) 谷合 (客船事業推進課)	TEL	671-7165 (政策調整課) 671-7390 (新本牧事業推進課) 671-7272 (客船事業推進課)

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	<p>スカイウォークは昨年度のリニューアルオープン以降、鶴見区と協力してプロモーションを行うことにより、魅力を発信してきました。8月には区主催事業の一環としてスカイウォークにて特別講座を実施し、横浜港をはじめ、新本牧ふ頭の役割や建設技術、環境への取組などの紹介を行いました。引き続きにぎわいスポーツ文化局のイルミネーションイベント「ヨルノヨ」と連携を図り、開館時間の夜間延長を予定しています。6年度はより一層鶴見区との連携を強化し、鶴見区の魅力PRするとともに地域の活性化に寄与できるようスカイウォークを活用していきます。また、大黒ふ頭を利用するクルーズ旅客等に対する地元産品や観光スポットの紹介について、引き続き区と協力・連携を図ってまいります。なお、大黒ふ頭へのアクセス向上については、スカイウォーク付近への水上交通の新たな発着拠点の設置の実現に向けて検討を進めていきます。</p> <p>事業実施の際は、大黒ふ頭方面市営バスやタクシーの増便に向けた働きかけや自家用車駐車場の確保など、区局連携のもとアクセス向上に向け協議を行ってまいります。</p>
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局	鶴見区		区政推進課		
		担当者名	楡、高橋	TEL	510-1677	
		共通区				
		継続年数	7年以上			
提案種別						
予算関連						
番号	項目					
4	中距離電車(相鉄・JR直通線)停車の実現等、鶴見駅のターミナル機能強化					
◇地域の課題、基礎データ等						
<p>1 鶴見駅はコロナ前には、一日平均80,000人を超える乗車人員があり(平成31・令和元年度)、市内在来線では横浜・戸塚・大船に次ぐ規模であるにもかかわらず、都心に向かう路線としては京浜東北線しか停車しません。また、京急鶴見駅は普通列車・エアポート急行のみが停車し、都心に向かう特急列車は停車しません。さらにJRと京急急行の乗り換え動線も不十分であるなど、ターミナル機能の強化が求められています。</p> <p>2 中距離電車停車に関する要望活動は、昭和40年代から続けられ、平成24年度に実施された署名活動では、署名数は20,935名分に達しました。現在は住民や企業など各種団体の代表者からなる「鶴見駅中距離電車停車等推進期成会」が積極的に活動を進めています。直近では、令和5年2月に横浜市へ、同年3月にはJR東日本へ要望書を提出しています。</p> <p>3 平成30年9月に改定された「京浜臨海部再編整備マスタープラン」においては、戦略Ⅱで「相鉄・JR直通線の鶴見駅停車及び鶴見駅ターミナル機能強化に向けた取組」が掲げられており、令和2年1月改定の都市計画マスタープラン鶴見区プランにも「鶴見駅の利便性向上」として、「神奈川東部方面線(相鉄・JR直通線)から直通する電車の鶴見駅停車を目指し、ホーム設置及び駅舎改良の検討を進めます。併せて歩行者デッキ等の整備による回遊性向上、(中略)、交通ターミナル機能としての機能の充実を検討します。」と掲げているところです。</p> <p>【基礎データ】</p> <p>① 相鉄・JR直通線：令和元年11月30日開業、相鉄・東急直通線：令和5年3月18日開業</p> <p>② JR各駅の乗車人員(出典：JR東日本より)</p> <p>(平成31・令和元年度) 横浜駅419,440人、戸塚駅112,598人、大船駅98,926人、鶴見駅80,794人、桜木町駅70,797人 (令和4年度) 横浜駅340,536人、戸塚駅93,018人、大船駅84,249人、鶴見駅66,024人(※)、桜木町駅64,698人 ※ 平成31・令和元年度の鶴見駅乗車人員との比較：81.7%</p>						
◇地域ニーズ等の収集手段						
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他()						
◇区民からの具体的な要望						
<ul style="list-style-type: none"> ・中距離電車(相鉄・JR直通線)の鶴見駅停車実現 ・鶴見駅のターミナル機能拡充や利便性向上(JR鶴見駅と京急鶴見駅との良好なアクセス確保、羽田空港へのアクセス強化) 						
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。						
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン鶴見区プラン(令和2年1月改定)にて、「第4章テーマ別方針 2.安全・快適に移動できる交通基盤づくり」に位置付けています。 ・鶴見駅中距離電車停車等推進期成会からは、毎年JR東日本株式会社及び横浜市長あてに要望書を提出しています。提出にあたり、区は期成会と関係部署との調整をしています。 ・「鶴見線スタンプラリー」(平成29年から開始)をJRの協力を得ながら主催し、京浜臨海部再編整備マスタープランに掲げる「インダストリアル・エンターテインメント」の一助となるよう、まずは臨海部の魅力をPRするとともにJR鶴見線の乗車数向上に寄与できる取組を実施しています。 						
◇提案内容・概算額等						
◇提案内容 鶴見区最大の交通拠点である鶴見駅周辺のターミナル機能を強化するため、次に掲げる鉄道整備事業等を推進する必要があります。 (1) 鶴見駅に中距離電車(相鉄・JR直通線)の停車実現、並びに停車できるようにするためのホーム新設及び駅改良 (2) 中距離電車停車に伴う駅舎改良に合わせた歩行者デッキ等の整備による回遊性向上や利便性向上等の機能拡充						
◇概算額等 (1) 都市整備局 鉄道計画調査検討費 ■■■■■ 千円 (2) 都市整備局 企画調整費 ■■■■■ 千円						
◇参考：区執行体制上の課題						
現行の体制で対応						
◇所管局						
所管局課	都市整備局 都市交通課・企画課					

◆局回答内容

都市整備局		都市交通課 企画課	
担当者名	横山、箕戸、飛田 (都市交通課) 水谷、伊藤 (企画課)	TEL	671-3541 (都市交通課) 671-2022 (企画課)

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 (1) 中距離電車停車については、過年度より鉄道事業者と連携して検討を進めており、引き続き、対応していきます。(都市交通課) (2) 京浜臨海部における交通インフラの充実強化について検討を実施します。(企画課)
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調査書

所管局名	道路局	鶴見区		区政推進課	
		担当者名	楡、高橋	TEL	510-1677
		共通区			
			継続年数	5年	

提案種別	
予算関連	

番号	項目
5	生麦ランプ入口の交差点周辺道路の交通渋滞の改善

◇地域の課題、基礎データ等

生麦ランプ入口交差点は、「国道15号と大黒ふ頭を結ぶ大黒線」と「産業道路」「首都高横羽線出入口」の交差点です。近接して「横浜環状道路（北線）の端末出入口」及び「一般道岸谷生麦線端末」が合流し、大黒線と交差点を形成しています。

このように、臨海部の主要道路の結節点が集積し、朝夕と慢性的な交通渋滞が発生しています。令和2年3月には北西線が供用開始され、交通量も増加しており、各交差点や北線出入口での渋滞（通過時間）が増加しているとの声もあります。今後の経済活動の活性化により、交通量の一層の増加が懸念されます。また令和8年度に供用開始予定の「東部方面斎場（仮称）整備」（神奈川産業道路沿線）への影響が懸念されます。

【基礎データ】

- 生麦ランプ入口交差点の交差点需要率（健康福祉局算出）
- ・需要率0.817 ※①2019(R1).10現況交通量+②斎場増加交通量（全体で98台/時）
- ※別途、道路局調査（2019(R1).12）は①の約1.08倍（※交差点流入交通量）
- 横浜環状北線の交通量
- ・2020.3(R2.3)の北西線の開通後、北線の交通量は増加傾向。

横浜北西線開通2年後の利用状況について

① 横浜北線
岸谷生麦出入口～生麦JCT

年度	交通量(千台/日)
開通前 2019.11	27.6
開通後 2021.11	45.0

約17.4千台増 (62.7%)

首都高道路(株)HPより

◇地域ニーズ等の収集手段

<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等	<input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等	<input type="checkbox"/> 3 地区担当制	<input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等
<input type="checkbox"/> 5 区民アンケート	<input type="checkbox"/> 6 区民要望	<input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望	
<input type="checkbox"/> 8 その他（ ）			

◇区民からの具体的な要望

首都高道路生麦ジャンクション入口交差点付近を中心とした渋滞を緩和してほしいです。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

鶴見区工業会の要望などにより、横浜環状北線端末部の交差点の現示の見直し・適切化（歩行者横断青時間の短縮）など、道路局・土木事務所で連携し、交通管理者と調整を行っています。

このような渋滞改善に向けて区でも検討を進めてきましたが、京浜臨海部および市内の広域交通ネットワークに関わる問題のため、これ以上の対策は区だけでは難しい状態です。

◇提案内容・概算額等

今後の交通量の増加に備え、現在の渋滞状況の把握（交通量調査、通過時間等）とともに、予想される交通量に対し早急な渋滞改善に向けた検討、関係者との協議調整をします。（概算額 〇〇〇千円）

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	道路局企画課、横浜環状道路調整課
------	------------------

◆局回答内容

道路局		企画課・横浜環状道路調整課	
担当者名	関野、江宮（企画課） 松田（横環課）	TEL	671-2777(企画課) 671-2778(横環課)

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 調査・設計などを踏まえ、渋滞改善に向け、関係機関との協議等を進めます。（企画課、横浜環状道路調整課）
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局		
	鶴見区		区政推進課
	担当者名	榎、高橋	TEL 510-1677
	共通区		
		継続年数	7年以上
提案種別			
予算関連			
番号	項目		
6	都市計画道路の早期整備		
◇地域の課題、基礎データ等			
<p>1 鶴見区内の都市計画道路の整備率は、令和5年3月現在で62.3%と18区中13番目であり（全市平均69.5%）、早期の整備が望まれています。</p> <p>2 特に、区を南北に分断する鉄道（JR、京急）を、踏切を使用することなく横断できる都市計画道路は、高さ制限のある「鶴見溝ノ口線」と平成28年度末に完成した「岸谷生麦線」だけであり、新たな都市計画道路を整備する必要があります。</p>			
◇地域ニーズ等の収集手段			
<p><input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等</p> <p><input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望</p> <p><input type="checkbox"/> 8 その他（)</p>			
◇区民からの具体的な要望			
<p>1 踏切を使用することなく線路を横断できる都市計画道路の早期整備</p> <p>2 平成25年度まで「まちづくり推進会議」で、都市計画道路の整備を含む鶴見駅周辺の機能強化</p>			
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。			
<p>横浜市都市計画マスタープラン鶴見区プラン（令和2年1月）において、「都市計画道路等の整備」を目標に挙げています。</p>			
◇提案内容・概算額等			
<p>1 都市計画道路「浜町矢向線」「大田神奈川線」「岸谷線」等の、区内の交通環境改善のために検討されている路線整備の促進（概算額 〇〇〇千円）</p> <p>2 その他都市計画道路の整備</p>			
◇参考：区執行体制上の課題			
<p>現行の体制で対応</p>			
◇所管局			
所管局課	道路局企画課		

◆局回答内容

道路局		企画課	
担当者名	関野、詫間、植月	TEL	671-2777

対応の有無	対応しない
対応する場合	◇対応の内容
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	未着手の都市計画道路については、整備財源となる国費が十分に確保できない状態が続いているなど課題があるため、事業化の目途は立っておりません。
	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局、都市整備局
------	-----------

鶴見区		区政推進課	
担当者名	榎、高橋	TEL	510-1677
共通区			

継続年数	4年
------	----

提案種別
予算関連

番号	項目
7	JR南武線矢向駅周辺の利便性及び安全性の向上

◇地域の課題、基礎データ等

1 JR南武線矢向駅周辺では、朝夕のラッシュ時には通勤や通学など、歩行者、自転車、自動車等の交通量が非常に多く周辺の踏切では慢性的な渋滞が発生しています。

2 踏切整備計画（平成27年4月策定）では、総合的な対策（連続立体交差候補区間）の区分として、JR南武線（矢向駅周辺）の区間が4箇所の踏切が抽出されているとおり、安全性の観点からも対策が必要です。

3 また、隣接する川崎市側では、令和5年度末に連続立体交差事業の都市計画決定などに向けた取り組みが進められています。

※川崎市の検討状況
令和2年度の都市計画決定を見送り、その後構造工法の見直しを行い令和3年11月に必要な都市計画手続き等を進める方針を公表。令和4年1月末から主に沿線にお住まいの関係地権者の方に向け説明会を開催。令和5年3月に都市計画素案説明会が開催されるなど、都市計画手続き等が進められています。

- 川崎市側の連続立体事業の検討が進捗する中、横浜市としても安全性の対策が必要と掲げている矢向駅周辺の安全対策について検討を進める必要があります。
- 矢向駅利用にあたっては、改札口が線路西側のみとなっており、特に線路東側の区内住民は踏切若しくはバリアフリー化されていない横断歩道橋（跨線）を利用せざるを得ません。以前より地域からは利便性向上も要望されており、誰もが便利かつ安全に公共交通機関へのアクセスができるよう検討が必要です。

◇地域ニーズ等の収集手段

1 日常の窓口対応等 2 市民からの提案等 3 地区担当制 4 地域懇談会等
 5 区民アンケート 6 区民要望 7 関係団体からの要望
 8 その他（)

◇区民からの具体的な要望

1 JR南武線矢向駅周辺の交通安全・利便性向上に関する要望（※鉄道の高架化や橋上駅舎化）
【横浜市長宛 関係町内会会長7名】（令和元年12月16日、令和5年2月9日）

2 JR南武線矢向駅における鉄道の高架化や、改札口を駅の上に設ける橋上駅舎化等についての早期検討の要望
【横浜市長宛 鶴見駅中距離電車停車等推進期成会】（令和5年2月10日）

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

○横浜市都市計画マスタープラン・鶴見区プラン（令和2年1月）において、「安全・快適に移動できる交通基盤づくり」に位置付けています。

○「鶴見駅中距離電車停車等推進期成会」では、毎年、JR東日本本社への要望活動を行っています。その意見交換会には鶴見区（区長）も同席し、鉄道事業者との意見交換を続けています。（令和5年3月13日 JR東日本訪問）

◇提案内容・概算額等

JR南武線矢向駅周辺の利便性及び安全性の向上に資する対策案の検討、関係者との調整等

1 連続立体交差事業の推進 道路局建設課
貨物線の踏切が残るなどの技術的な課題や、事業の市域内の効果・有効性などを検証し地域の理解を得ながら進める。（概算額 █████ 千円）

2 JR矢向駅の駅改良 都市整備局都市交通課
矢向駅西側のみ改札を東側にも設けるなど、通勤通学者、高齢者などの利便性向上に寄与する動線の確保の検討。（概算額 █████ 千円）



◇参考：区執行体制上の課題
現行の体制で対応

所管局	道路局建設課 都市整備局都市交通課
-----	-------------------

◆局回答内容

道路局		建設課	
担当者名	角本、高梨	TEL	671-2792

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	川崎市では、連続立体交差事業の都市計画決定に向けて手続きを進めており、本市においても、市内の課題、事業効果、有効性及び川崎市の事業進捗等を勘案し総合的に検討していきます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

都市整備局		都市交通課	
担当者名	横山、賀戸、飛田	TEL	671-3541

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容
	関係区局と連携し、鉄道事業者や川崎市等とも調整しながら、駅改良（駅利用者の利便性向上等）の可能性を検討します。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

		鶴見区	区政推進課	
		担当者名	榎、高橋	
		TEL	510-1677	
		共通区		

	継続年数
	2年

提案種別	
予算関連	

所管局名	健康福祉局
------	-------

番号	項目
8	「東部方面斎場(仮称)」の整備における市域東部方面からのアクセスの実現

◇地域の課題、基礎データ等

◇地域の課題
 「東部方面斎場(仮称)」の整備については、区提案反映制度や地域要望の声も踏まえ、横浜市の課題を解決するため、鶴見区大黒町に整備することで進めています。
 令和3年度には、都市計画決定の手続きを進めながら、配置計画なども進めています。
 一方で施設計画が具体化していく中で、斎場へのアクセスについて周辺道路事情等も踏まえ課題が見えてきました。
 ・斎場前面の神奈川産業道路の現状形態では、鶴見区含む市の東部方面からのアクセスができず、第一京浜から神奈川川区方面へ大きく迂回する必要があること。【アクセス距離の課題】
 ・迂回しないためには、大黒線の右折車線のない食肉市場前交差点を右折してアクセスすること。【一般車の安全確保】 【混雑の助長】
 ・工業専用地域内に大型物流施設が集合する中央線のない道路であり、操業環境の確保や一般車の安全確保の面で課題があること。【操業環境の確保】 【一般車の安全確保】

◇基礎データ
 ・平成30年1月30日 記者発表(東部方面に新たな斎場(火葬場)を整備します。)
 ・平成30年3月 説明会※(横浜市東部方面斎場(仮称)の整備について)
 ・令和2年度 環境影響評価、都市計画決定手続
 ・令和3年度 都市計画決定手続、経営許可申請手続
 ・令和4、5年度 経営許可申請手続、実施設計、本体工事
 ※説明会は、平成29年度以後、毎年、進捗状況の報告等を実施

◇地域ニーズ等の収集手段

1 日常の窓口対応等 2 市民からの提案等 3 地区担当制 4 地域懇談会等
 5 区民アンケート 6 区民要望 7 関係団体からの要望
 8 その他()

◇区民からの具体的な要望

・葬祭、火葬ができる施設を整備してほしい。斎場建設は重要であり、優先して実施してほしい。
 ・地域への説明会等では、操業環境を確保するような交通計画を要望する意見。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

平成30年度予算編成に向けた区提案反映制度での提案。

◇提案内容・概算額等

・令和5年度末から建物の本体工事着手が予定されており、引き続き、地域等への工事進捗状況等の情報提供を行う。
 ・鶴見区を含む市域東部方面の車両が、神奈川産業道路・鶴見区側からの斎場へのアクセスを確保する。そのために必要な検討、関係機関協議、整備を進める。(概算額 〇〇〇〇 千円)
 ・検討にあたっては、生麦ランプ入り口交差点を中心とした渋滞対策とも連携しながら検討を進める。

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

所管局課	健康福祉局環境施設課
------	------------

◆局回答内容

	健康福祉局	環境施設課	
担当者名	内木、川畑		
TEL	671-4386		

対応の有無	対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>交通管理者、道路管理者及びその他関係機関と検討、調整を進めます。交差点改良設計に向けた事前調査委託費及び交差点改良設計費を令和6年度予算に計上します。</p>
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	健康福祉局	鶴見区		福祉保健課		
		担当者名	鈴木	TEL	510-1791	
		共通区	13区（神奈川区・西区・中区・南区・旭区・金沢区・港北区・緑区・都筑区・戸塚区・栄区・泉区・瀬谷区（一部賛同含む））			

継続年数	新規
------	----

提案種別	
制度関連	
番号	項目
9	民生委員・児童委員会費徴収の効率化
◇地域の課題、基礎データ等	
<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員・児童委員の活動費は、年2回の振込みをおこなっています。 ●民生委員は、社会福祉協議会の会員でもあり、毎年6月に、市社会福祉協議会、区社会福祉協議会、区民生委員児童委員協議会費等を合算して納入することとなっています。 ●委嘱時に会費等がかかることを伝えますが、周知が不十分な場合もあり、趣旨をご理解いただくため、地区の役員が改めて説明をする必要があります。 ●会費納入については、各地区における集金事務や振込手数料が生じています。 ●一部の特別区などでは、民生委員からの委任を受け、各会費の引き去り後に活動費を支給することで、集金事務の負担軽減を図っています。 ●本市の現行の仕組みでは民生委員の本来業務以外のことで、煩雑かつ金銭管理のリスクある事務を行うこととなっています。 	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他（超過勤務削減）	
◇区民からの具体的な要望	
<ul style="list-style-type: none"> ●一斉改選事務において、会費や活動費の説明が必要となりますが、民生委員候補者への説明は自治会町内会役員が行うことが多く、自治会町内会役員より説明しづらい、仕組みがわかりづらいとお声をいただきます。 ●会費等に関する説明が、毎年度必要となり、活動費から引き去りしてもらうことで、徴収の説明・手間・振込手続きの負担がなくなるとの意見を民生委員より受けています。 	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。	
会費等については、一斉改選時の新任研修で説明したり、会費徴収時に地区会長連絡会にて改めて説明しています。	
◇提案内容・概算額等	
<p>【提案骨子】</p> <p>全市的に自治会町内会や民生委員の負担軽減に向けて、依頼事項の削減や見直しを図っている中、民生委員の令和7年度一斉改選向け、本来業務以外の煩雑な事務のさらなる見直しを進めます。</p> <p>また、定例・反復的な業務を集約することで、業務の効率化を図ります。</p> <p>【具体的案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は、各区の手続きの方法を確認し、会費徴収方法の効率化を区局で検討します。 ・上記の検討の中で、次回、令和7年度一斉改選の折に、同意書を貰い活動費支給時に会費等を引き去る方法についても効率化に向けた方策の一つとして検討します。 ・18区での展開や一斉改選年度に局でシステム入力の一括委託を検討します。 	
◇参考：区執行体制上の課題	
現行の体制で対応	
◇所管局	
所管局課	健康福祉局 地域支援課

◆局回答内容

健康福祉局		地域支援課	
担当者名	下山	TEL	671-4046

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容
	民生委員児童委員協議会の会費の徴収方法等について提案区をモデル区として区局で検討を行います。口座情報の入力については、システムに入力する項目が限られているうえ、多い区で98件、少ない区で25件、18区平均では60件ほどのため、各区で対応していただきたいです。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	医療局
------	-----

鶴見区		福祉保健課	
担当者名	山本	TEL	510-1827
共通区	15区（神奈川区、西区、中区、港南区、保土ヶ谷区、旭区、磯子区、金沢区、港北区、緑区、青葉区、都筑区、戸塚区、栄区、泉区（一部賛同含む））		

継続年数	新規
------	----

提案種別	制度関連
------	------

番号	項目
10	要介護高齢者の結核健診（管理健診、接触者健診）にかかる巡回健診の実施

◇地域の課題、基礎データ等

●鶴見区は、結核の新規登録患者数が年間30件前後あり、市内でも上位の登録件数です。結核は、潜伏期間が2年と長く、患者や接触者の管理も長期に及びます。（令和3年の新規登録者数 鶴見区26件 第4位）
 ●日本は結核患者の発生が他の先進国に比べ多く、低まん延国とされており、結核患者の管理は感染症管理の中でも重点的に実施されています。
 ●患者の年齢層は、65歳以上の高齢者が6割を占め、要介護状態であることも多いです。
 ●要介護状態の患者や接触者の健診は主に採血によるIGRA検査や胸部のレントゲン検査を実施しますが、外出が困難な要介護高齢者においては、受診にかかる負担が経済的にも身体的にも負担となり、健診協力を示す場合や拒否される場合も出ています。※受診時の介護移送サービスや往診費用は公費対象外のため自己負担となっています。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（ ）

◇区民からの具体的な要望

結核健診のご案内をする際に「移送にかかる費用も無料にならないか」「日ごろは往診を受けているので体調に問題はない、検査は病院に外向かなければいけないと言われていたが、身体的な負担を考え検査を受けずに済む方法はないか」との相談を受けています。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

- ・健診回数や福祉保健センターから主治医等との調整により、個別の状況に合わせ健診が実施できるよう対応しています。
- ・費用については、感染症の性質を丁寧に説明し、本人や家族等に理解いただけるよう努めています。

◇提案内容・概算額等

結核罹患の半数以上が高齢者であり、往診可能医療機関があることで適切な健診時期に健診を実施できるとともに、調整にかかる時間が短縮します。
 適切に健診を実施することで、人への感染力を持つ前に早期発見し、結核のまん延防止につながります。
 案1：ポータブルレントゲンを所有する往診医療機関に委託し、かかりつけでない場合も往診でのレントゲン検査や採血検査を実施。
 案2：市独自に公立医療機関等で健診の特殊チームの編成を促し、市内を巡回。（区経由で申込。空き状況共有があると利用しやすい）

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

所管局	医療局健康安全課（結核担当）
-----	----------------

◆局回答内容

医療局		健康安全課	
担当者名	竹生田	TEL	671-2729

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容
	<p>次年度、結核患者接触者健康診断及び精密検査業務委託の受託意向確認時に、在宅診療が可能な結核指定医療機関を加え、契約した医療機関情報は全区に共有します。このことにより、区の医療機関調整にかかる時間の短縮につなげていきたいと考えています。</p> <p>なお、外出困難な要介護者は、往診医等のかかりつけ医がいる場合が多く、既往歴等の個性が高いことから、現状、個々の実情に応じ、かかりつけ医と相談の上、胸部X線検査以外の方法による対応を含め検討することも可能です。</p>
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	医療局
------	-----

鶴見区		福祉保健課	
担当者名	渡部	TEL	510-1832
共通区	9区（西区、中区、港南区、保土ヶ谷区、磯子区、金沢区、緑区、栄区、泉区（一部賛同含む））		

継続年数	新規
------	----

提案種別	制度関連
------	------

番号	項目
----	----

11	こどもの予防接種の接種記録の照会方法の改善
----	-----------------------

◇地域の課題、基礎データ等

母子手帳を紛失してしまった等により、接種履歴が分からなくなってしまっている方は、医療局宛に個人情報の本人開示請求を行った上で、居住区の窓口にて予診票の請求を行うという手順になっています。
 この場合、手間と多くの時間を要することから、適切な時期に予防接種を受けることができない可能性があります。
 ※参考 年間件数 30件程度

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他（ ）

◇区民からの具体的な要望

（主にこどもの保護者から）区窓口で予防接種の接種履歴について、本人開示請求を行わずとも簡単に知ることができるようにしてほしいです。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

窓口において市民から予防接種履歴の問い合わせがあると、医療局宛の本人開示請求を案内しているが、その手間から市民の方が接種をあきらめる旨の発言があったり、適切な接種時期から遅れてしまうことへの不安の声を聞くことがあります。

◇提案内容・概算額等

本人開示請求を行わずとも、各区で接種履歴を閲覧した内容又は区からの照会に対する回答に基づき接種状況を来庁者に回答することができる仕組みづくりを要望します。
 案1 区による予防接種データベースの閲覧を可能とするネットワーク構築及び来庁者に接種状況を回答する権限の付与
 案2 区窓口で本人確認の上、区から局へ電話照会することのみで、来庁者に回答する権限の付与

※現在、こども青少年局にて「横浜市子育て応援サイト（仮称）」での母子手帳機能なども検討されていますが、システム稼働まで時間を要する見込みであることやシステム稼働後も「横浜市子育て応援サイト（仮称）」を利用しない（できない）区民に対応するために本件を提案することとしたい。

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

所管局	医療局健康安全課
-----	----------

◆局回答内容

医療局		健康安全課	
担当者名	田中、田川	TEL	671-4190

対応の有無	一部対応する
-------	--------

◇対応の内容

予防接種の接種履歴は母子健康手帳の記録が正式なものとされていますが、記録の確認が困難な場合には、接種医療機関やマイナポータル等で記録の確認ができることを案内しており、ホームページ上でも周知を行ってまいります。
 ただし、マイナポータルの情報は、接種医療機関から返送される予診票から手動で入力しており、登録まで2～3か月のタイムラグがあります。現在、国が令和8年度以降に予診票のデジタル化を導入する予定としており、これにより大幅なタイムラグの改善や、接種履歴情報の確認における利便性の向上が期待され、本市も国の進行に合わせ、デジタル化の対応を進めています。

◇課題に対する局の考え方

◇対応する場合の課題

対応しない場合	
---------	--

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	健康福祉局	鶴見区		高齢・障害支援課		
		担当者名	塩浦	TEL	510-1772	
		共通区	9区(西区、中区、南区、港南区、保土ヶ谷区、金沢区、緑区、都筑区、瀬谷区(一部賛同含む))			
		継続年数	2年			

提案種別
予算関連

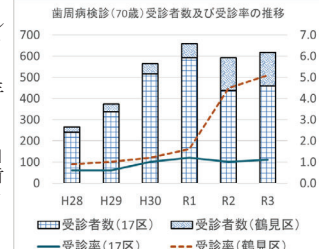
番号	項目
12	歯周病検診(70歳)の受診勧奨

◇地域の課題、基礎データ等

生涯を通じた健康づくりのためには、全身の健康に影響を及ぼす歯周病対策やプレフレイルであるオーラルフレイルの早期発見と介入は重症化予防において有効であり、特に70歳のタイミングは後期高齢者の介護予防として重要となります。

健康福祉局が行う歯周病検診(70歳)は無料であるにもかかわらず受診率は低く、令和元年度から国民健康保険加入者への特定健診個別通知にチラシを同封する等の取組みを経ても、令和3年度は鶴見区を除く17区で458人受診、受診率1.1%です。

鶴見区では横浜市高齢者一般調査(平成29年3月)で「後期高齢者の口腔機能低下者割合」が18区中1位であったことから、横浜市歯科口腔保健の推進に関する条例の施行も鑑み、区歯科医師会と課題共有・協働して、歯周病検診(70歳)対象者全員に個別通知を発送することとしました。これにより、コロナ禍による受診控えがある中、令和3年度の受診者・受診率は159人・5.1%となりました。



年度	受診者数(17区)	受診率(17区)	受診者数(鶴見区)	受診率(鶴見区)
H28	250	1.0	159	5.1
H29	350	1.2	159	5.1
H30	450	1.5	159	5.1
R1	550	2.0	159	5.1
R2	600	2.5	159	5.1
R3	650	3.0	159	5.1

◇地域ニーズ等の収集手段

<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等	<input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等	<input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制	<input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等
<input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート	<input type="checkbox"/> 6 区民要望	<input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望	
<input checked="" type="checkbox"/> 8 その他()			

◇区民からの具体的な要望

横浜市高齢者一般調査「健康とくらしの調査(JAGES 2016)」で後期高齢者の口腔機能低下者の割合が18区中最下位であったことに関し、区歯科医師会と協働して対策を行う中で、区側には受診率の向上のための取組として、個別通知の継続実施が求められています。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

歯周病検診(70歳)対象者への個別通知については、令和2年度より、個性ある区づくり推進費自主企画事業「鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業」の一環として、鶴見区歯科医師会との協働により取り組んでいます。区では個別通知のほか受診者への指導用資材の準備を、区歯科医師会では受診者へのオーラルフレイル予防に関する個別指導や歯ブラシの提供を行っています。なお、「健康とくらしの調査」における後期高齢者の口腔機能低下者の割合は、その後、令和元年調査で18区中10位、令和4年調査で8位となっています。

本事業は、鶴見区運営方針のうち、目標達成に向けた施策Ⅱの「3 子どもから大人まで安心・元気」に位置づけられています。

◇提案内容・概算額等

歯周病検診は、満40歳、50歳、60歳、70歳の方が対象ですが、70歳の方は無料であることから、そのタイミングを捉えて、対象者全員に個別通知を発送することを提案します。これにより「70歳の歯周病検診は無料」というイメージをより強く認識していただけることが期待され、効果的に受診率向上に繋げることが可能です。

更に、他の事業と連携し、同じ対象者に送る通知を同送すれば、委託料・郵送料を最小限に抑えることができ、効率的・効果的な事業推進が図られます。

- 1 歯周病検診(70歳)受診勧奨通知の作成・発送経費【健康福祉局健康推進課】
- ・チラシ印刷: 〇〇千円
 - ・封入委託負担: 〇〇千円
 - ・郵送料負担: 〇〇千円

◇参考: 区執行体制上の課題

現行の体制で対応

所管局	健康福祉局健康推進課
-----	------------

◆局回答内容

健康福祉局		健康推進課	
担当者名	太田	TEL	671-2451

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 歯周病の予防と早期発見を推進するためには、受診率向上が重要だと考えますので、対応方法については、予算編成の中で検討してまいります。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題